

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分  
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)  
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005  
E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp  
URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 三原慎也  
副 会 長 : 野田三津雄  
幹 事 : 西村 肇  
公共イメージ : 松森 薫  
会報担当者 : 田中義久

2023 年度国際ロータリー会長：ゴードン R. マッキナリー (サウス・ウエスト フェリー ロータリークラブ・スコットランド)  
2023 年度国際ロータリーテーマ：CREATE HOPE in the WORLD (世界に希望を生み出そう)

<本日のプログラム>

第 2842 回 令和 5 年 10 月 26 日 第 4 木曜日  
IM 最終打合せ

<次回の予定>

第 2843 回 令和 5 年 10 月 29 日 第 5 日曜日  
東海北陸道グループ IM  
ホスト：郡上八幡 RC

<前回の記録>

第 2841 回 令和 5 年 10 月 12 日 木曜日  
職場例会 大和町:(株)ミノグループにて

司 会 進 行	平岩あゆみ副 SAA
点 鐘	三原慎也会長
ソ ン グ	それでこそロータリー
出 席 報 告	森下 光出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
37 名	29 名	6 名	35 名	94.6%

- ニコBOX** 國田大雄ニコ BOX 担当責任者
- ・ミノグループの永瀬さん、本日はありがとうございます。お世話をお掛けします。 三原慎也
  - ・永瀬さん、職場例会ありがとうございます。宜しくお願いします。 西村 肇
  - ・ミノグループ大和工場へようこそお越し下さいました。 永瀬和郎
  - ・永瀬さん、本日の職場例会ありがとうございます。宜しくお願いします。 山下友幸
  - ・警察署協議会会長を務めさせて頂いております。 10 月 16 日(月)13:30~全国地域安全運動に伴う一日署長として、俳優の伊藤英明氏を招き出発式を行います。観覧場所もありますのでお越し下さい。 國田大雄
  - ・職場例会、(株)ミノグループ様、本日は宜しくお願い致します。  
平岩あゆみ・廣瀬泰輔・岩出明喜・可児一彦  
河合 修・河合和也・川嶋成樹・國田大雄  
松本英樹・松森 薫・水上成樹・森下 光  
村井裕孝・村土時男・長尾信幸・西川 昇  
野田三津雄・小笠原正道・大川達也

酒井智義・竹内巧治・田中義久・渡邊 剛  
徐 飛・山川直保

**幹事報告** 西村 肇幹事

- ・ガバナー事務所より日本経済新聞全面広告の掲載のお知らせ
- ・地区事務所より 9 月クラブ増強状況報告書
- ・可児 RC より例会変更のご案内

<拝受>

- ・関中央 RC より週報

**委員会報告**

可児一彦親睦委員長

- ・合同例会送迎バスについて

**会長の時間** 三原慎也会長



皆さん、こんにちは。昨日、藤井竜王名人が、長瀬王座を破りまして八冠を達成しました。八冠以外では竜王名人という言い方をしますが、何故名人竜王と言わないかということ、名人より竜王の方が位が上だからということです。今朝の中日新聞にも載っておりましたし、多分今日のワイドショーなんか、ずっと藤井八冠の話題一色になるのではないかと思います。

本日は職場例会ということで、永瀬さんには大変お世話をおかけしております。どうもありがとうございます。テーブルの上にボールペンとシャープペンをお配りしておりますが、ミノグループと郡上八幡ロータリークラブと印刷してあります。後で永瀬さんの説明があると思いますが、これはミノグループさんの技術だと思います。後でゆっくりと説明をお聞きしたいと思いますので、永瀬さん、どうぞ宜しくお願いします。

## 職場例会 永瀬和郎会員



皆さん、こんにちは。本日は、ご足労頂きましてありがとうございます。はじめに、ここは煙草を吸うことができません。お客様も同じで、もし吸われるのなら、外へ出て門の外側で吸

って頂くことになります。隠れて敷地内で煙草を吸ったら、従業員であれば即刻懲戒免職ということになっています。工場ではシンナーも使いますし、お客様のところへ行っても、煙草を吸いながら作業をしたりして火事を起こすといけませんので、喫煙には厳しいルールを作っています。

それでは、わが社の案内をさせていただきます。ご存知の方もみえると思いますが、スクリーンというのは、枠にメッシュの網を張って、そこに感光膜を付けてスクリーン印刷をします。版にインクを乗せて、スキージでこすると印刷ができます。國田会員の会社は印刷することを生業としてみえて、うちは物を提供することを仕事としています。スクリーン印刷には色々ありますが、身の回りのほとんどの物にスクリーン印刷が施されています。服や、家庭にある時計の文字盤、食器類、車の部品などがあります。今の自動車の追尾センサーとか、接触防止のためのセンサーなどを作っている所にも納めています。うちの会社は、初めは美濃和紙とパラフィンを使ってガリ版原紙を作っておりました。1960年くらいから印刷機を製造していて、最近だと、初期の頃のスマホなどのタッチパネルは印刷機で作っていたので、うちもたくさん仕事をさせていただきました。ただ、印刷はあるレベルが決まっているので、これから私たちの会社もあと10年、20年先、半世紀先を考えると、何をしなければいけないのか、非常に悩ましくなっています。印刷というのは版があるのを普通、印刷というのですが、印刷で版がないのがインクジェットとディスペンサーといいます。印刷以外でも、うちでは今色々、大学の先生と一緒に開発、研究をしています。

次に会社の構成ですが、社員が現在約115名、本社としては我々役員も含めて10名くらいで、ここ大和工場は約40名ほどです。本社のある美並工場は約50名、関連会社が約15名です。大和工場は、製造部門、技術部門、製版部門、業務部門、営業事務部門の5つの部門で仕事をしています。うちの特徴は、いろんな印刷を専らこの工場で行っていますが、色々な印刷を考えたり提案したりすると同時に、印刷だけに限らず、印刷に関わる全てのことにご相談を受けても対応できるということです。歴史が長いのでそういうことができると思っています。それから、会社が特別にこの工場に仕立てて、実質私が今運用していますが、特殊なインキとか塗料を作るラボを持っています。このラボを持っている会社は、たぶん国内に1つか2つなので、これで従業員数人分の給料くらいの仕事があるのですが、このところ少し暇になってきているので、もう少し盛り上げないといけないという状況です。

製造では、いわゆる塗料を作っています。塗料という

ものは、大きなバケツに接着剤となる樹脂と色を付けるものを混ぜて、溶剤を入れます。それらを混ぜて、ローラーですり潰すように練り込みます。練り込んだものを検査して、1キロとか2キロに分けて、お客様にお渡しするという仕事をしています。ここでは溶剤を扱っていて危険なものもあるので、基本的には工場はお見せしていません。そして、もうひとつはスクリーンの版というものを作っています。網戸の網のようなものをギューツと引っ張って、それをアルミの四角い枠に張り、そこに感光剤を塗ります。それを乾燥させてからフィルムを押し当てて露光し、水で洗い流していくと、固まらなかったところだけ穴が開いて、インキを通すことができるわけです。それを検査、後処理をして出荷しています。この2つがここでの主な仕事ですが、こちらでスクリーンの版を作っているのが5~6人です。塗料を作っているのが、前後に色々な仕事に加わっていますが、15人くらいです。ですから、この工場で作づくりをしている従業員は20名ほどで、残りの20名くらいは事務方で頑張っています。印刷をする機械は美並工場で作っていますが、刷り台といわれる手で印刷するようなものは、こちらの工場でも扱っています。更には、印刷したものを乾かす道具はこちらで、乾かす機械は美並で作ったり扱ったりしています。どちらかというところ、こういった手作りのようなものが多いのですが、最近は印刷もデジタルになってきていて、印刷の準備をする方もデジタルになってきています。コンピューターで直接版を作るというのを、裏の工場でも始めています。コンピューターでやると何がいいのかというと、デジタルなので一足飛びに、直接加工ができることです。そういうところでコスト削減をしたり、お客様にその辺りのサービスを提供したりといったことを始めています。ただ日本は、物づくりということではまだまだアナログなことが多いので、海外のようにすぐデジタルにはなっていないので、その辺は私たちももう少し頑張らないといけないと思っています。

ミノグループの特徴は、インキも機械も何でも自社で提供できる、そして、一緒に考えるということができることです。今はデジタル化、IT化で、印刷作業はどんどん縮小化してきています。私たちスクリーン印刷業界においても、廃業されたりするところも結構ありますが、まだまだスクリーン印刷は一般的な印刷に比べれば伸びしろがありますので、色々な仕掛けをしていかないといけないと考えて、今実際にやっています。今までうちでは扱わなかったような印刷技術とか印刷の方法なんかも考えて、ハイブリットな考え方を色々持ち込もうということをしています。ただ、どこの会社そうですが、特にこのような中山間地では若い人が少ないです。うちの会社はまだ若い人がいる方だと言われればそれまでですが、この先何年も続けていくには若い人が少ないというのが一番の悩みです。それでも会社がやっていけるような形と方法を考えないといけないと、最近色々と考えています。

会社が今創立75年なので、100年目指して頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。